

天シ連

Tempaku Ward Senior Club Association Newsletter

No.3

令和6年7月 発行



8ページ 「天白区制50周年ボッチャ大会」より

天白区制50周年ボッチャ大会

令和6年7月3日（水）に行われた天白区制50周年ボッチャ大会には約90名の役員・選手が集まり、大いに賑わいのある大会となりました。

当日は役員・選手を替えて、各チーム2試合行い、皆さん白熱したプレーを楽しんでおられました。合計得点数で上位3チームには賞品を、抽選で選ばれた10チームにはラッキー賞を贈呈しました。選手の皆さんは、和気あいあいとした時間を過ごしました。



会長挨拶

会報誌「天シ連」第三号発行について



天白区シニアクラブ連合会

会長 安江 春彦



「天シ連」第三号を発行する運びとなりました。

が始まります。

ここに会報誌「天シ

連」第三号を発行し、ク

ラブ員だけでなく天白区

の多くのシニア層の皆さ

んに、クラブ活動の役割

を訴えていく広報版にし

たいと思います。

人生100歳時代とい

うように、今や高齢者は

人口の四分の一を超えま

した。この高齢者層がい

かに元気で楽しく生きる

かが課題です。これに提

起しているのがシニアク

ラブの活動です。「孤独・

寡黙は猛毒、クラブ活動

は百薬の長」と市老連は

謳いました。

このためにはいま私た

ちの活動を広く広報する

と同時に、高齢者層の趣

味趣向のニーズに応える

多面的で創造的な活動が

必要と思います。夏から

秋にかけて演芸大会、趣

味の作品展を計画してい

ます。仲間を作って、こ

れらの催しに1人でも多

くの人が参加できるとよ

いと思います。

この会報誌によって天

シ連の活動が、皆さんの

一層身近な存在になるこ

とを祈念しております。

天白区シニアクラブ連合会

令和6年度 会員加入状況

単位クラブ数：41 クラブ

会員数：1,706人（男性640人／女性1,066人）



天シ連会長会の出席者のみなさん



栄誉の瞬間、盛大な拍手での祝福

令和6年度天白区シニアクラブ連合会 功労者表彰式・会長会



5月22日（水）、天白区役所講堂にて「功労者表彰式・会長会」を開催しました。

安江春彦会長のあいさつから始まり、来賓として水野一裕区長と保健福祉センター加藤嘉一福祉部長にご臨席いただきました。天白区のシニアクラブ会長が見守る中、功労者表彰として天白区長感謝状が1名の方に、シニアクラブ連合会会長感謝状が8名の方に記念品とともに授与されました。

続いて天白警察署生活安全課・村瀬智哉係長より「特殊詐欺対策」について講演をいただき詐欺についての防犯対策を学びました。

最後に会長会が行われ、事業報告および予算・決算について説明が行われました。また監査結果については、監事より報告がありました。

楽しい親睦旅行



▲瑠璃光にて



笑顔でスタート!
バスの旅

令和6年2月20日(火)と21日(水)の2日間で北陸方面への親睦旅行を実施し、45名が参加しました。

移動のバスの中でもビデオ鑑賞やバスガイドさんの案内で賑わい、和やかな空気で旅はスタートいたしました。

【1日目】

◆和風会館ふかまつ

昼食は砺波市の和風会館ふかまつでとりました。豪華な料理とお酒で、各学区同士が親睦を深めました。



絶品料理に舌鼓

◆となみ

散居村ミュージアム

続いて訪れたとなみ散居村ミュージアムでは、日本の稲作農村を代表する砺波平野の散居景観について、副館長よりスライド形式で説明を受けました。その後は、かつて散居村で使用されていた民具が展示された民具館も鑑賞しました。



楽しみながら学びを深める!

◆ささら屋 福光本店

続いては、ささら屋 福光本店で富山の名物「白海老」のお土産を買い、富山の思い出を持ち返りました。



願い込めて
なでなで♪

◆瑠璃光

初日の旅の疲れは「瑠璃光」の加賀温泉に癒され、宿自慢の料理に舌鼓。食事



楽しい旅の思い出に

◆高瀬神社

1日目最後に訪れた高瀬神社では、それぞれに想いを込め、参拝を行いました。癒されたい箇所を撫でると加護が得られるという「なでつさぎ」を撫でる方もいらっしゃいました。

を存分に楽しみながら行われたカラオケでは、皆さま気持ちよく自慢の喉を披露されました。
他にも社交ダンスや黒田節が会場を沸かせ、最後は写真撮影と万歳三唱で締め括られました。

歌に踊りに
大盛り上がり!!

一目の締めくくりは万歳三唱で!





最初に来場者を迎える巨大なダンプトラック

【2日目】

◆こまつの杜

2日目はこまつの杜からスタートしました。

到着早々、ダンプトラック930Eと油圧ショベルPC4000の巨大な姿が見え、あまりの大きさに声を漏らす方も多くいました。館内では2グループに分かれ、それぞれ歴史館の観覧と館内ガイドの方による会社説明会を受け、交互に会社見学を行いました。



歴史館の観覧

ガイドの方による会社説明会

珍しさから写真に収める方も多くいました。

◆安宅住吉神社

続いて全国唯一の難関突破の守護神が祀られる安宅住吉神社を訪れました。

1200年以上の歴史を誇る神社で境内には歌舞伎十八番にも選ばれている演目「勧

進帳」の舞台となった「安宅の関」跡があります。巫女さんには弁慶と義経が関所を突破した物語を語っていただき、全員耳を傾けて聞き入りました。



難関突破の霊験ありとされる「安宅住吉神社」



義経と弁慶が辛くも難を逃れた安宅の関所

◆月うさぎの里

2日目の昼食は月うさぎの里でおいしいお料理を堪能しました。ここには、うさぎと触れ合えるコーナーもあり、遊び場に足を踏み入れると一斉に駆け寄ってくる可愛らしい多種多様なうさぎたちと至福のひとときを過ごしました。



◆越前そばの里

石川県を後にし、続いては福井県越前市の越前そばの里を訪れ、内部の蕎麦工場の見学や越前蕎麦の試食をし、食べた会員からは「コシが強くて美味しい」「普段食べる蕎麦と違う」といった声もあがりました。福井名物のお土産も購入し、同は次の場所へ向かいました。

かわいらしいうさぎ達に癒やされる

打ちたての蕎麦、絶品!

◆日本海さかな街

最後に訪れたのは敦賀市の「日本海さかな街」。日本海で獲れたばかりの新鮮な海産物が並ぶ海鮮市場では、威勢のいい売り子の声が響き、賑やかな雰囲気の中買い物を楽しみました。



美味しそうな海の幸の数々について目移り

帰りのバスの中ではビンゴ大会を開催し、早くビンゴになった方は今回の旅行のお土産を獲得されました。帰り道でも終始笑いが絶えず帰路となり、楽しい思い出の旅行となりました。

笑顔で始まり、笑顔に終わる!

会長研修会

第1部

運営補助金あれこれ



令和6年1月24日(水)、天白区役所講堂にて会長研修会が行われました。

研修会に先立って能登半島地震の被災者を追悼し1分間の黙祷を行いました。

会は2部制で進行し、1部では高齢福祉課の小久保係長より運営補助金の精算書・申請書記載方法などについての説明指導がありました。

会員数別補助額

30～39名	40～49名	50～69名	70～99名	100名以上
41,520円	46,560円	57,840円	64,200円	77,880円
0円	+5,040円	+16,320円	+22,680円	+36,360円

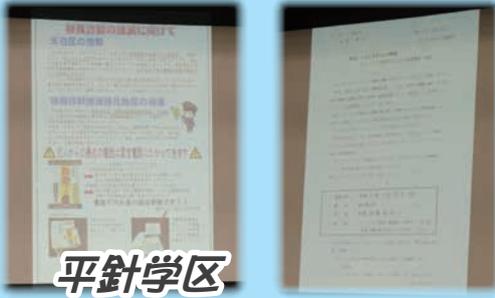
(年間額)

第2部

我がクラブの「楽々！事業運営」

2部では我がクラブの「楽々！事業運営」と題して、6学区の代表クラブ、八千代会、なごやかクラブ高砂会、こうのすマスターズ、つくし会、友梅クラブ、寄鷺会からパワーポイントを使って、会報紙や社会見学など各クラブの取り組みについての発表がありました。





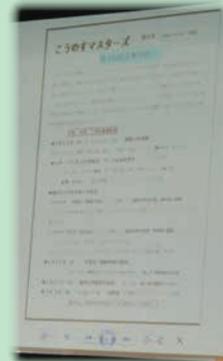
平針学区
なごやがクラブ高砂会



平針南学区
八千代会4クラブ連合



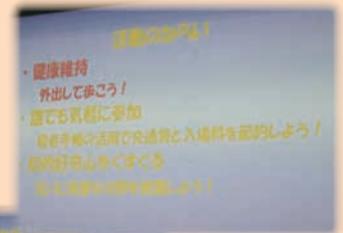
植田北学区
このすマスターズ



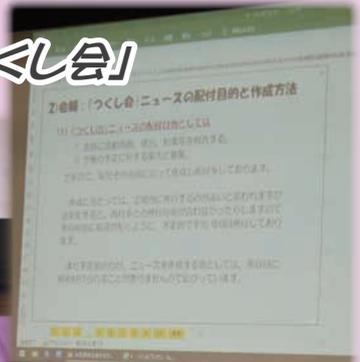
天白学区寄鷺会



植田東学区
友梅クラブ



植田東学区
高齢者クラブ「つくし会」



天白区制50周年ボッチャ学区対抗大会

7月3日（水）、天白スポーツセンター第1競技場にて天白区制50周年ボッチャ学区対抗大会が開催されました。

当日は日頃の雨が嘘のような快晴で、こまめに水分補給をしながら熱中症に気をつけて競技を楽しみました。

午前の部・午後の部に分けて行われ、午前の部では



スナップを効かせ、狙った場所へエイヤ!

役員40名が集まり審判員の講習を受け、その後模擬試合を行いました。

午後の部では試合に参加される選手17チーム51名が集まり、安江会長の挨拶で大会が開始されました。

初心者の方も多く参加されており、「今の惜しかった：」「すごい！」「こうした方がいい」などお互いに声をかけ合いながら楽しんで



緻密な戦略も重要なボッチャ、話し合いも真剣。



午後の部、安江会長のあいさつ

んでプレーされていました。参加された方に話を聞いてみると、「楽しいけど難しい：」「ボロボロだったけど楽しかったです」など、楽しみながらプレーされていることが伺えました。まだまだ、なじみの薄いボッチャですが、すごく楽しいスポーツなので皆さまぜひご参加ください！



【取材者の声】

模擬試合で実際に挑戦してみるとやはり難しく、投げた玉を狙ったところに飛ばせるようになるまで大変でした。しかし参加者の皆さんのアドバイスですぐにコツを掴むことができ、頭と体を使うボッチャの楽しさや、誰でも楽しめる親しみやすさを体験させていただく事ができました。

私たちは天白区シニアクラブ連合会の活動を応援しています



気の置けない仲間と笑顔で雀卓を囲む

「ボン」「それチー」「はい!ロン」と麻雀用語が声高に乱れ飛ぶ。ここは野並福池のこじんまりしたマンションの風光明媚なペントハウス。

事の始まりは去年の笹原公園でのお花見の席。「もっと喋りたい」「麻雀教えて」「絵も描こうよ」と声上がり、生まれたのが友愛サロン福池です。

今や総勢15人。入れ代わり立ち代わりで毎回10人前後です。午後1時からたっぷりお喋りコーヒータイム。雀卓2台と絵描きテーブルで季節の果物や花瓶の花を描いています。3時過ぎから紅茶タイム。再びお喋り。



サロンに来れば
誰かに会える、笑顔になれる、それが幸せ

みんなの
広場

サロン福池

野並学区

アクティブシニア笹山クラブ

会長 佐藤一孝



皆さん思い思いの趣味を楽しみながら
気ままに過ごせるくつろぎの空間

その後は麻雀、お絵描き。相撲の時期は大型テレビで観戦。員員の力士を熱中し過ぎて口泡とばし員員倒し、若い力士には目の色を変えて応援している。観ている皆んなもお若い。

お互いの話で、個々の食器棚の扉を直したり、駐車場の雨漏りを補修したり、絵画・書道展に行ったり、マルシェで楽しんだりして少しずつ行動が広がっています。夕方の六時がお開きです。

持ち寄ったお菓子や私の手作りのパンを手土産にさよならです。「来週の水曜日」を待ちながら…。

私たちは天白区シニアクラブ連合会の活動を応援しています

